

くにみ 議会だより

No.160
3月議会号



うれしさをぐっところえて入場

国見小学校の入学式。新一年生の表情は期待と不安でいっぱいです。

3月定例会

新庁舎完成と交流の場着工を目指し
新年度予算130億円を決定 — P2

議会基本条例を制定しました — P22

交流の場整備など繰越予算26億円を含む

平成25年度補正予算 — P7

一般質問(若者の定住化や少子化対策など10人が登壇) — P10

仮置き場確保で除染・復興が加速 特別委員長報告 — P21

一般会計130億円 繰越予算26億円

交流の場(道の駅)着工を目指す

住宅除染1500戸を実施

3月議会定例会は3月6日から19日まで14日間の会期で開かれました。

今定例会には、130億円の一般会計当初予算や新年度に繰り越す26億円を含む25年度補正予算、議会基本条例など40議案が提出され、すべて原案どおり可決、決定されました。

一般質問では10人の議員が登壇し、15項目にわたって町政をたどりました。

平成26年度一般会計当初予算

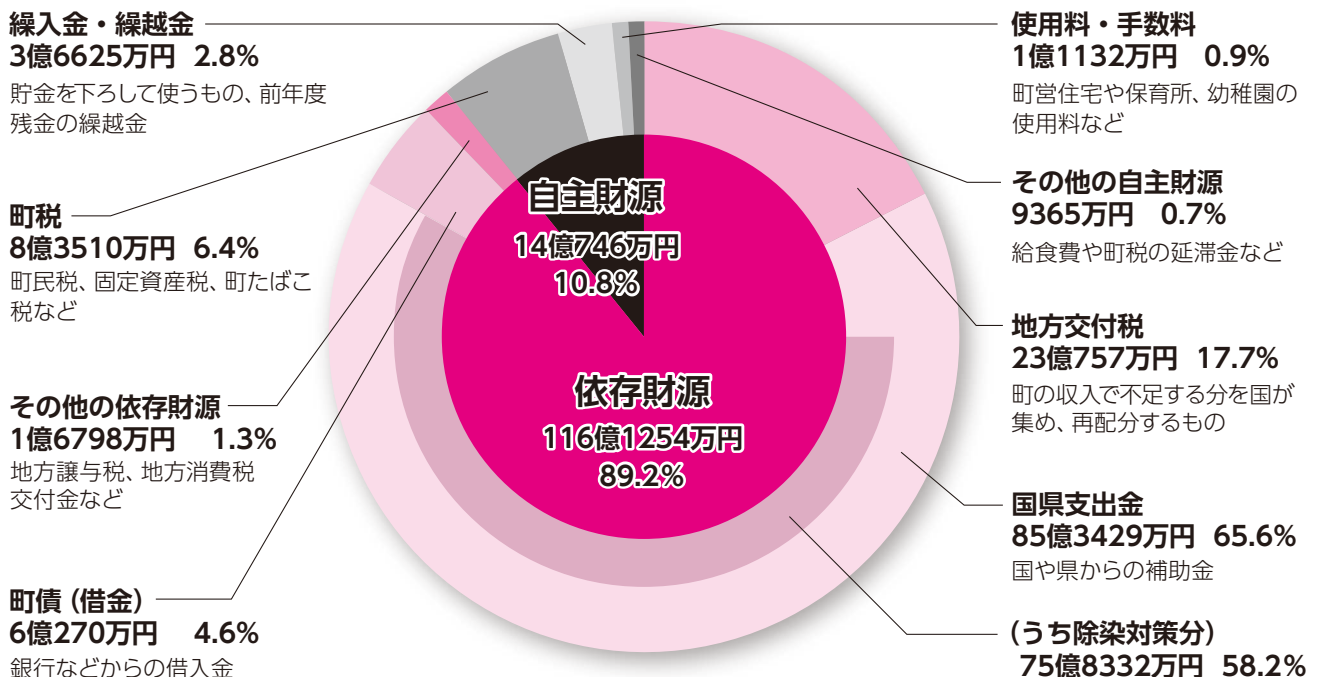
平成26年度の当初予算は130億円で、前年度に比べ54億円(71.0%)増となり、全員賛成で可決しました。

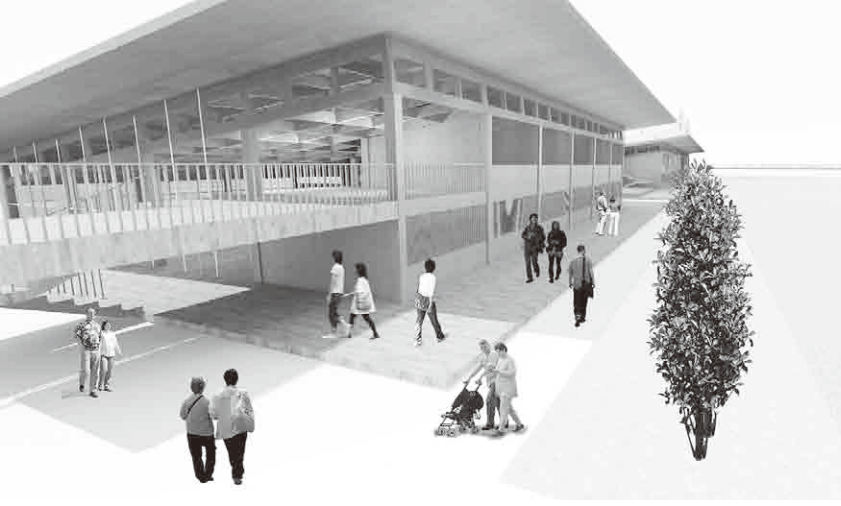
当初予算は「国見の未来をつくる5つの目標」を柱に、住宅除染1500戸を含む除染対策の推進や役場庁舎の建設などの経費が計上されました。

大震災からの早急な復旧復興

● 除染対策事業(繰越予算含む)	92億1282万円
● 放射線対策健康管理	1179万円
● 米やあんぼ柿など農産物の検査	440万円
● 風評被害払拭への農産物PR	300万円

歳入 130億2000万円





平成26年度

新庁舎完成と

交流の場(道の駅)のイメージ図(藤田字日渡四地内に予定)

安全安心なまちづくり

- 空き家の実態調査 1000万円
- 防災倉庫などの設置 258万円
- 防災訓練の実施 100万円

活力あるまちづくり

- 交流の場(道の駅)整備(繰越予算) 6億3156万円
- 芸術祭や産業祭などの交流事業 1878万円
- 岩淵遺跡の修復 1027万円

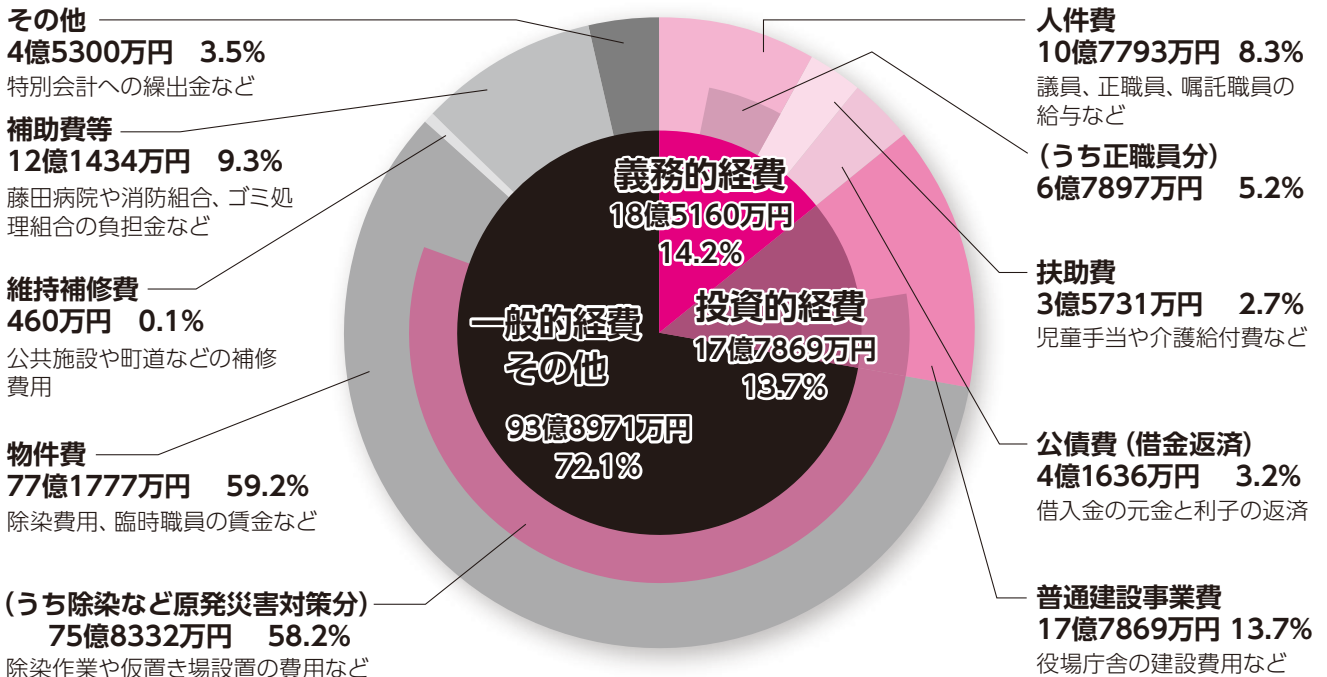
思いやりのあるまちづくり

- 預かり保育など子どもの育成 3678万円
- いきいきサロンの運営など高齢者事業 880万円
- 廃校の利活用事業 770万円
- 幼小中の一貫教育事業 100万円

町の継続的な維持発展

- 役場庁舎建設事業(繰越予算含む) 10億8825万円
- 町民相談室、「町長の日」の開催 372万円
- 国見応援団「関東国見会」の設立 270万円
- 少子化対策の交流事業 50万円

歳出 130億2000万円



1. 東日本大震災からの早急な復旧復興

県北浄化センター汚泥の監視体制の強化。仮置場の確保と除染対策の推進、放射線対策健康管理、農産物検査の継続と風評被害払拭。

2. 安全安心な町政の実現

防災訓練の実施や防災倉庫などの整備。空き家調査の実施。防災意識と「自助」の普及啓発。

3. 活力ある町政の実現

農商工一体の町民が集える交流の場(道の駅)の設置。農業の6次化や企業誘致の推進。

※農業が食品加工や流通販売にも業務を展開すること。

4. 思いやりのある町政の実現

旧小坂小・旧大木戸小廃校の活用。屋内遊び場、預かり保育事業、放課後子どもクラブの運営など子どもの育成。生きがいデイサービスやいきいきサロンなど高齢者事業の推進。

5. 国見町の継続的な維持発展

町民主役の町政の実現。国見応援団「関東国見会」の設立など町内外への情報発信の強化。国・県など関係機関との連携強化。

施政方針に対する質問

佐藤定男議員

新規事業はあるのか

問 活力ある町政の実現のための取り組みに具体的な新規事業はあるのか。

町長 心の想いを伝える芸術祭やふるさと祭、食の産業祭、郷土料理コンテスト、屋台フェスティバルなどを予定。また、交流の場、道の駅を復興のシンボルとして進める。

問 新規事業のふるさと祭や芸術祭とは。

町長 ふるさと国見町のために、町民がお互いに連携してやるものが芸術祭でありふるさと祭である。具体的には今後検討していきたい。

事業継続と定着が重要では

問 昨年度は、義経まつり復活など多くの新事業を実施した。それらを継続し、町の活力とすることが重要である。その事業の定着前に、さらに新事業を実施する必要はあるのか。

町長 財源となる復興交付金は震災や原発事故の空白を取り戻すためのもので、十分活用する。付

加価値を加え、オール役場、オール国見で町民の心の元氣を取り戻していく。

交付金依存で大丈夫か

問 新規事業には新たな人員と財源が必要になる。復興交付金がなければ新規事業は継続できないのか。

町長 復興交付金は、大震災からの復興が目的。継続性は重要であり、様々な事業が各分野で連携できる交流の場(道の駅)の中で継続できるよう進めていきたい。

■ 基金(貯金)の残高

基金名	25年度末貯金残高	26年度末見込貯金残高
財政調整基金	8億3071万円	6億85万円
東日本大震災復興(支援)交付金基金	1億5920万円	8239万円

■ 町債(借金)の残高

会計名	25年度末借金残高	26年度末見込借金残高
一般会計	57億5502万円	60億1751万円

当初予算の主な質疑

町制60周年で

記念事業の予定は

問

(村上晴夫議員)

今年が町が合併して60周年となるが、記念事業などの考えは。

町長

復興・復旧の途中で、何らかの形で実施したい。実行委員会にて記念式典やイベント、冊子の作成など

を検討していきたい。

新規事業の

関東国見会とは

問

(村上正勝議員)

まちづくり事業の関東国見会270万円の内容は。

企画情報課長

関東在住の町出身者に応援になってもらい、町の情報発信と町産品のPRをお願いするもの。

町道用地の 購入目的は

問

(井砂善榮議員)

町道用地購入2650万円の場所と目的は。

建設課長

国道4号線と旧藤田保育所前の道路が交差する周辺の土地約3000平方メートルを購入し、信号機のある交差点や交流の場の出入口を考えている。

新年度の 除染内容は

問

(東海林一樹議員)

新年度の除染作業の内容と数量は。

原発災害対策課長

左記のとおり。

26年度の除染作業内訳

住宅除染	1500戸	44億円
道路除染	45キロメートル	11億円
森林除染	7ヘクタール	2億1400万円
樹園地の除染	3ヘクタール	8900万円
公共施設の除染	3カ所 (藤田病院など)	8600万円

住宅除染は計画 どおり進むのか

問

(渡辺勝弘議員)

住宅除染は25年度分が完了できず、新年度で

はさらに予定戸数が増えている。計画どおり実施できるのか。

原発災害対策課長

新年度1500戸は前年度実績から約11カ月で完了予定。

工場や企業誘致 の取り組みは

問

(浅野富男議員)

新年度で工場や企業の誘致の予定は。

町長

民間所有の土地への誘致を所有者と協議中。町内企業との懇談会などでトップセールスを進めたい。雇用対策や町の活性化対策として前向きに取り組む。

防災倉庫の 備蓄は十分か

問

(渋谷福重議員)

防災倉庫の備蓄品の中身とその量は。

住民生活課長

保存水や食料などで、町民1人当たり1日分を基準

に備蓄。不足分は各家庭で3日分の水や食料の備蓄をお願いしている。

ウォーキング 地図の内容は

問

(佐藤定男議員)

ウォーキング地図作成15万円の内容は。

保健福祉課長

これまでにウォーキング大会のコースを中心に、各地区の自然や文化財を見ながら歩くコースを掲載予定。

交付金の新規 対象地区は

問

(村上晴夫議員)

農地保全管理などの交付金236万円の新規対象地区は。また地元からの要望か。

産業振興課長

藤田地区から相談があり、協定締結に向け協議を進めている。



先生これからよろしくね(藤田保育所入所式)

せん孔細菌病対策 の減額理由は

問

(村上晴夫議員)

モモせん孔細菌病対策費が昨年より200万円減だが、その理由は。



議会の現地調査で修復への課題も
(町史跡・岩淵遺跡)

産業振興課長

スピードスプレーヤー補助を増額し、防除剤の費用を減額したものです。

特産品開発 支援の内容は

問

(渋谷福重議員)

特産品開発支援事業40万円の内容は。

産業振興課長

農産物を加工した特産品の開発を補助するもの。試作品のモニタリング調査やパッケージングなどのアドバイスなども含める。

展望台の眺望 確保の対策は

問

(阿部泰藏議員)

阿津賀志山展望台周辺は松林が大きくなり眺望も悪く、ビッグツリーも隠れる場合がある。森林育成と眺望、景観を両立する対策は。

産業振興課長

去年はビッグツリーの点灯前に補助事業で間伐を実施

し、見通しを確保した。26年度も継続して実施する予定。

貝田などのほ場 整備の内容は

問

(渋谷福重議員)

貝田地区などのほ場整備の調査委託700万円の内容は。

建設課長

基本設計を策定するもの。さらに経済効果の算出や換地計画につなげる予定。

いじめ防止への 体制づくりは

問

(佐藤定男議員)

いじめ防止対策検討委員会を新設する理由は。

教育長

これまで十分に対策してきたが、法律で計画策定が義務づけられたため、検討委員会でのいじめ対策や重大事件への調査体制などを協議するもの。

英語力向上への 取り組みは

問

(渡辺勝弘議員)

新規事業の英会話体験活動授業の内容と目的は。

学校教育課長

外国人講師の派遣や天栄村のブリテイッシュヒルズで体験学習。外国語指導助手や英国人スタッフとの会話から異文化の体験や理解、国際感覚を身につけ、英語力の向上を図ることが目的。

岩淵遺跡の 修復に課題は

問

(渋谷福重議員)

岩淵遺跡修復工事1027万円で壁の崩れやカヤの放射能汚染などが心配されるが。

生涯学習課長

壁の補強など業者と相談して県外のカヤなどを使いたい。

スポ少補助金を 増額すべきでは

問

(渡辺勝弘議員)

スポーツ少年団の補助金が22万円では少ないのでは。町から県の代表やオリンピック選手が出るように増額して力を入れるべきでは。

生涯学習課長

近隣市町と比べて低い金額ではない。各スポーツ少年団の決算状況を見ながら検討していきたい。

下水道負担は 軽減されたのか

問

(村上晴夫議員)

平成22年度に公共下水道計画を見直し、徳江、森山、川内地区を除外した。負担金は軽減されているのか。

上下水道課長

汚水処理費や維持管理費、そのための借金などが軽減され、県北流域下水道事務所に支払う負担金も軽減されている。

26年度に繰り越しして実施する

交流の場や庁舎建設などを増額

平成25年度補正予算のうち、一般会計(第5号)は7億4707万円を増額し、予算総額111億8946万円とすることを全員賛成で可決しました。

主な増額は、交流の場の造成や土地購入の費用6億2656万円や庁舎建設の工事費など2億3057万円、2月大雪の除雪費用の不足分600万円などで、その財源は国・県からの補助金や町債(借金)で補います。

質疑

一般会計

固定資産税増の原因は

問 (村上晴夫議員)
収入で固定資産税

が2031万円増で良いことだが、その原因は。

課長 各事業者の設備投資が増えるなど償却資産が主なもの。

新庁舎の業務開始は

問 (佐藤定男議員)

役場庁舎建設は順調に進んでいるとの説明だが、実際に役場業務が開始されるのはいつか。

総務課長 来年2月末の完成予定で、その後、周辺整備や内部工事などが必要。引越しを含め、実際の業務開始は5月になる見込み。

都市計画などが進まないが

問 (浅野富男議員)

都市計画マスタープランの策定や消防屯所の建設は以前から計画されていたが、繰り越しになるのはなぜか。

建設課長 都市計画法との整合性や交流の場(道の駅)の具体的な内容を含めたものとするため。

住民生活課長 は、国の補助金決定を待ち、12月議会の議決後に設計を始めたため。

橋梁調査は以前に実施済では

問 (村上晴夫議員)

橋梁などの調査1020万円は、以前も緊急に点検したが、その違いは。
建設課長 前回は調査の対象外だった15ヶ所の未満の橋梁と町道約47ヶ所の舗装の点検を行うもの。

平成25年度一般会計 補正予算(第5号)の主な内容

【主な事業】

◎交流の場の造成工事、土地購入	6億2656万円
◎庁舎建設の周辺整備、事務備品購入	2億3057万円
◎給食センター蒸気管の改修	1870万円
◎舗装道路や橋梁の調査点検	1020万円
・2月大雪の除雪費用の不足分	600万円
◎2月大雪のビニールハウス被害への補助金	500万円
◎くにみ幼稚園の雨水や落雪の防止工事	307万円
◎小坂消防屯所の建て替えのための解体費用	118万円
・県北中学校の校庭防砂ネット購入費	79万円
(◎は26年度に繰り越しして実施する事業)	

【主な財源】

・国・県などからの補助金、交付金	4億211万円
・町債(借金)	3億660万円
・町税(固定資産税など)	2592万円

【予算に計上済みだが、26年度に繰り越しを決定した主な事業】

◎除染や仮置き場設置の工事費など	15億7431万円
◎森林を再生させる計画策定、調査、間伐など	4594万円
◎米の放射性物質吸収抑制対策	3500万円
◎国見小学校の外壁改修費用	2829万円
◎小坂消防屯所の建設費用	1443万円
◎親月台公園の遊具の入れ替え	1019万円

除染未実施が多いのでは

問 (浅野富男議員)

26年度への繰越事業が多く、特に除染対策費が15億7000万円と大きい。いつ完了するのか。

原発災害対策課長 未着手は住宅除染180戸と仮置き場工事で、26年度早期の完了に努める。



町内の介護施設が元気に花見会(観月台公園)

地域元気交付金の 使いみちは

(東海林一樹議員)

問

地域の元気臨時交付金は説明の4つの事業3130万円のほかは何に使うのか。

総務課長

役場庁舎の建設事業に残り約1億円を使う予定。

夏休みに給食センターを修繕

(志村良男議員)

問

給食センター施設修繕工事1870万円をなぜ繰越事業にするのか。

学校教育課長

給食センターが休みの夏休み期間に工事するため。

介護保険特別会計

特定入所者増の理由は

問

(志村良男議員)

特定入所者介護サービス810万円増の内容は。

保健福祉課長

低所得者が施設サービスなどを利用した場合の、利用料の負担を軽くするために町が支給する補助金。増額は国見の里の開設で対象者が増えたため。

条例その他

滞納解消を迅速化

町長の専決事項を追加

議会の権限に属する事項のうち、町長が専決処分できる事項に、町営住宅などの施設使用料やそれ以外のもので額が140万円以下の滞納解消のため、裁判所への訴えの提起や和解、あっせんなど訴訟手続きに関することを追加し、徴収事務の迅速化を図るものです。

※専決処分とは
議会が事前に認めた議決事項を、町長が議会の議決を経ないで決定すること。

強制執行手続きの債権を明確化

債権管理条例

町税などの強制執行できる債権と訴訟手続きが必要なその他の債権を明確に分け、訴訟など未収金の強制執行の手続きの迅速化を図るもの。

職員などの給与カットを継続

職員などの給与条例

平成20年度から実施している職員の給与減額を継続し、26年度は課長などを0.5%減額します。

また町長、副町長、教育長の給与を職員と同様に0.5%減額します。

消費税の増税に 対応

下水道条例など

消費税の増税に対応するため、行政財産使用料条例、道路占用料徴収条例、下水道条例、水道料金増徴条例の消費税分の税率をそれぞれ8%に改正しました。

社会教育委員設置条例

追加委員の条件は

問

(浅野富男議員)

委員に追加される「家庭教育を向上させる活動を行う人」とは。

生涯学習課長

特に資格は必要なく、PTAや子育てサークル、保護者から子育ての相談を受けている人などを想定している。

町長の行政報告（抜粋）

■ 東日本大震災からの早急な復旧・復興

住宅・宅地除染は、619戸で作業に着手。(3月4日現在)

仮置き場は、西大枝地区と山崎地区で除去土壌などを搬入中。ほかの候補地は、藤田2か所、小坂1か所、森江野1か所で調整中。

これまでのホールボディカウンターによる内部被ばく検査とガラスバッジによる外部被ばく検査では、健康に影響を与えるような数値は検出されていない。

あんぽ柿は、放射性物質検査を12月から約14万トレーを実施し、9割以上が未検出。トップセールスを東京の「町イチ！村イチ！2014」などで実施し、生産青年農業者と品質の高さや安全性をPR。

平成26年産米の放射性物質の吸収抑制対策は、すべての水田で吸収抑制剤を散布し、生産された米は全量全袋検査を実施する。26年産米の作付け目標配分率は65.9%（前年比0.9ポイント減）。

■ 安全安心なまちづくり

災害時の相互応援協定を有限会社メール観光（桑折町）と締結し、災害時の輸送体制を強化。

2月中旬の大雪対応は、国道渋滞のため、観月台文化センターと大木戸ふれあいセンターに避難所を開設し、87人が避難。被害状況は、住宅の一部損壊1件、農業関係施設被害61件など。

■ 活力あるまちづくり

交流の場(道の駅)の進捗状況は、基本計画及び基本設計策定を発注。財源は、国の予算を確保した。

■ 思いやりのあるまちづくり

くにみもたん広場は、2月末現在、延べ1万8232人、1日平均107人が利用。

■ 町民の皆様との連携や維持発展

「国見の教育ビジョン」を策定。学校・家庭・地域が一体となった教育、保育所から中学校までの一貫教育で豊かな心と確かな学力を育む。

意見書

3月定例会では意見書1件を可決し、国など関係機関へ送付しました。

介護保険要支援者への予防給付の継続を求める意見書

国の介護保険制度見直しに対し、介護予防サービスの地域間格差や質の低下と市町村の事務や財政負担を増加させないよう、現行のとおり介護保険要支援者への予防給付の継続を国に求めるもの。

可決

みなさんからの 請願・陳情

3月定例会では陳情1件を委員会で審査し、一部採択となりました。

陳情	提出者	審査委員会	結果
要支援者への予防給付を市町村事業とすることなどについての意見書提出に関する陳情書	公益社団法人 認知症のひと家族の会 福島県支部 代表世話人 佐藤和子 福島地区会 代表 井桁ユウ	産業厚生	一部採択
「要支援者への予防給付を市町村事業としないこと」は、採択。「一定以上所得がある人の利用者負担を引き上げないこと」は、現役世代の負担抑制や高齢者負担の公平化などから不採択。以上、全員一致で一部採択に決定しました。 (※単身世帯で合計所得160万円、年金収入のみで280万円以上の人の利用料を1割から2割に引き上げるもの)			

～10人の議員が登壇し、活発な議論を展開～



町政を問う

一般質問

3月定例会

議員	質問事項	ページ
井砂 善榮	若者の定住化に安価な住宅を提供しては 農地の借り手に助成金を	11
佐藤 定男	「国見の教育ビジョン」が目指すものは何か	12
東海林一樹	商店街と交流の場をどのようにつなぐのか	13
松浦 常雄	豪雪による国道大渋滞への対応は 通学路の安全対策は	14
村上 晴夫	新年度の人件費が増加しているが	15
阿部 泰藏	迷惑空き家対策として条例制定を 全国学力テスト結果公表を	16
志村 良男	国道拡幅改良工事の促進を 県北中からの旧国道を歴史街道として整備しては サービスエリアへの町道を改良すべき	17
渡辺 勝弘	少子化対策として婚活イベントを	18
渋谷 福重	光明寺町内会の町道整備の促進を	19
浅野 富男	家賃滞納者への対応は	20

質問、答弁は要約して掲載しています。会議録全文は、町議会ホームページに掲載予定です。[<http://www.town.kunimi.fukushima.jp/groups/gikai/>]

一般質問とは、議員が町政全般にわたり執行状況や将来に対する方針など、諸問題について質問を行い、政治姿勢を明らかにするものです。

Q 若者の定住化に安価な住宅を 提供しては

A 新たな協議会を設置し今後検討していく

問 当町でも新生児の誕生が減少している。少子化対策として保育料を無料とする考えは。

は全額無料にしている。車の利用は今後、財源確保を含め慎重に検討する。

問 自家用車での幼稚園送迎の保護者負担を軽減するため助成金支給を。

働く場を確保するため、町内にある工業団地の未利用地への企業誘致を促進しては。

問 農地の借り手に助成金を

以前農地の借り手に助成金を交付していた。復活できないか。

課長 幼児教育 子育てに感が大い多子世帯の経済的負担の軽減を図るため、第2子の保育料を半額、第3子以降

課長 幼児教育 国見まちなかタクシーを利用した場合には、全額または一部助成を行っている。自家用

町長 大震災以降、業の進出は非常に厳しい状況である。しかし、町内にある未利用地を解消するため、今年初め、所有する会社のトップに直接、協力要請をした。これからも積極的に動き、少子化対策につなげていく。

町長 山間部の耕作放棄地の解消策は、

問 農地の借り手に助成金を

は。

町長 山林に隣接し農地に戻すことが困難な所は造林事業を活用し山林に転換を図っていきたい。

課長 産業振興 新年度地域営農を推進する計画づくりに着手する。この計画により、借り手である認定農業者などは一層有利な国などの助成制度が

問 若い夫婦の定住を促進するため、町営住宅の家賃を安くするとか、町で民間住宅を借り上げるなどの対策はどうか。

課長 保健福祉 新年度にこの課題を含め町の少子化対策全般に対応するため、役場内に推進班を設置し、有識者による協議会を立ち上げ検討していく。

課長 産業振興 新年度地域営農を推進する計画づくりに着手する。この計画により、借り手である認定農業者などは一層有利な国などの助成制度が

課長 産業振興 現地を調査し、荒廃の程度に応じて所有者などに改善策の提示や貸し借りを進めるなどの活動をしている。

課長 産業振興 地区の中で合意形成が前提である。新年度の計画づくりの中で協議を進めてほしい。

課長 産業振興 現在進めているほ場整備に光明寺地区が参加しないというが、禍根を残さないか。

課長 産業振興 活用できる。

課長 産業振興 現在進めているほ場整備に光明寺地区が参加しないというが、禍根を残さないか。

課長 産業振興 活用できる。

課長 産業振興 活用できる。



井砂善榮議員



入園式でも元気の園児たち
(くのみ幼稚園)

**Q 「国見の教育ビジョン」が
目指すものは何か**

**A 地域と一体となった国見型一貫教育
による人づくりを進める**



佐藤定男議員

問 教育委員会が「国見の教育ビジョン」を策定した。策定の背景は。

教育長

一つには保育所、幼稚園、小中学校の統合を契機に一貫教育を中心とした新たな教育指針を作成する必要がある。

問

大きな柱のひとつとして「地

域と一体となった進める人づくり」を掲げている。実現のために新しく「学校運営協議会制度」を導入するとあるが、この制度の内容は。

教育長

平成16年に制度改正で各学校に設置可能となった。保護者や地域の人に学校運営の基本方針や教育活動などについて校長や教育委員会に対して意見を述べたりして学校運営に参加してもらうもの。

問

また同時に設置する「学校支援地域本部」とは。

教育長

また同時に設置する「学校支援地域本部」とは。保幼小中間の交流ふ

教育長

学校が必須とする活動についてPTAだけでなく広く地域の人をボランティアとして派遣する組織で、いわば地域に作られた学校の応援団である。

問

2つ目の柱として「国見型の連携一貫教育」を掲げているが、その内容は。

教育長

各教育機関が目指す子ども像を共有し、連続性を持った教育指導により、豊かな人間性や社会性の育成、確かな学力の向上、健やかな体の育成、そして郷土を愛する心の育成を図るもの。

問

一貫教育の具体的な内容は。

教育長

保幼小中間の交流ふ



新生生の誓いの言葉(県北中学校入学式)

問 「土曜塾」を導入する考えはあるのか。

教育長

現在、土曜塾とは呼んでいないが、スポーツ少年団活動や少年仲間づくり教室などの公民館活動を実施している。

問

14歳時の「立志式」についてはどうか。

教育長

新年度は立志式という儀式的な行事ではなく、中2を対象に日本サッカー協会の協力で夢先生事業を実施する予定である。今後、生徒に夢や目標を持つて大人としての自覚を持たせるには、どのような事業がより目標を達成できるのか、立志式の実施も含めて、さらに検討していく。

Q 商店街と交流の場を どのようにつなぐのか

A 相互往来の利便性と連携を図り 一体感を創出する

問 道の駅を核とした交流の場の建設予定地は。

道の駅を核とした交流の場の建設予定地は。

町長 平成21年に発表したとおり、農協ガソリンスタンドのある交差点の国道東側である。

問 オープン時期はいつ頃か。

町長 平成28年の秋をめどに進めていく。

町長 商店街と交流の場の接続が課題。まず、どの横断方式が良いか関係者と協議し、決定していく。運営面では伝統行事などを通じ商店街との連携や農工商が一体感を持つた心の交流を図ることも重要である。

建設課長 補助率は借入金返済に対する交付金を含めると70%である。なお、物販など収益部分は補助対象外である。

産業振興課長 本年夏から業務を試行したい。

産業振興課長 現在、専ら業務をどう積算しているのか。

問 商店街からは国道の横断が必須。歩行者の安全のため地下歩道が必要では。

問 補正予算に土地購入費として1億5600万円計上してある。買収面積と地権者の人数は。

問 物販は地元農産物が中心。仕入れ組織をいつ立ち上げるのか。

問 いろいろな機能がある施設運営には人手もかなり必要

問 赤字経営と十分なつなぐのか。

建設課長 2万5000平方メートルで14人の所有者である。

問 コンビニエンスストアを入れる計画だが、当初はなかった。変わったのか。

問 運営組織としてNPO法人または株式会社を新年度中に設立する計画だ。違いは何か。

問 赤字経営と十分なつなぐのか。

建設課長 補正予算に土地購入費として1億5600万円計上してある。買収面積と地権者の人数は。

問 物販は地元農産物が中心。仕入れ組織をいつ立ち上げるのか。

問 いろいろな機能がある施設運営には人手もかなり必要

問 赤字経営と十分なつなぐのか。



東海林一樹議員



この賑わいを交流の場にどうつなげるか
(商店街の春のフードフェスタ)

Q 豪雪による国道大渋滞への対応は

A 避難所の拠点として道の駅をさらに要望する



松浦常雄議員

産業振興課 課長

補正予算に被害対策として資材購入費の補助として500万円を計上している。さらに、農家が金融機関などから融資を受ける際の保証料に対する補助制度を新設する。

問

国道の今回のような渋滞を緩和するために、今後町は国へどのようなことを要望していくのか。

町長

今後の対応について国と意見交換を行った。その中で4車線化の早期実現と避難所の拠点としての道の駅を早く作ることで一致した。今後とも災害等にしっかり対応できるように要望していく。

問

去る2月に2度にわたる記録的な大雪により幹線道路が寸断され、国道は長時間にわたり大渋滞に陥った。また、町民生活にも大きな被害を与えた。そこで聞くが、大雪警報の広報を町民にどのように行ったのか。

課長

大雪山警報の発令以降、防災無線で延べ9回にわたり注意喚起や交通機関などの情報を提供した。

問

ビニールハウスの被害は、農業生産上、大きな問題だ。被害救済をどのように考えているのか。

課長

避難所の開設のほか、日赤奉仕団による炊き出し弁当などを配布した。

問

大渋滞により長時間にわたり車内に閉じ込められた運転手などへの支援をどのように行ったのか。

問

町道の除雪はよくやっていたと思うが、ある集落から除雪が一部しか行われず、車を動かすのが困難であるとの苦情があった。建設業者との連携をどのように図っているのか。

課長

降雪の状況や天気予報により積雪が見込まれる場合

通学路の安全対策は

問

通学路の危険箇所については、どのように対応しているのか。

次長

平成24年度に警察・県・町・学校合同で危険箇所の緊急点検を実施し改良を終わっている。

次長

県に継続して要望している。

問

歩道のない通学路は今回のような大雪の場合は一層危険になる。安全確保のための対応は。

次長

通学に危険を伴うと判断をした場合は、今回のような休校措置をする。



大雪のビニールハウス被害を調査 (高城字宮下地内)

Q 新年度の人件費が増加しているが

A 膨大な復旧復興予算を執行するためである

問 義務的経費の人件費が9500万円ほど増えている。その要因は何か。

町長 130億円という膨大な新年度予算、特に震災の復旧復興、元気活力予算を執行するための職員増によるものである。

問 町税を前年度より800万円増収と見込んでいる。ただ、5年前の22年度と比較すると1億5500万円ほどの減だ。

課長 法人均等割は減少する方向だが、軽自動車税は増収の見込みである。なお、法人の減少分は消費税改正に関連する特別交付金で財源調整されるため一般財源総枠では影響はない。

問 地方交付税が23億700万円ほど計上されている。今後の見通しは。

総務課長 今後、震災からの復旧・復興事業が終了すると通常ベースの18億円から19億円程度に戻るものとなっている。

問 除染対策事業に76億円計上されている。執行するための内部体制は。

原発対策課長 目標とする1500戸及び道路の除染を担える業者に発注していく。

問 請負業者は体制上、実施可能か。

原発対策課長 目標とする1500戸及び道路の除染を担える業者に発注していく。

問 すでに実施完了した箇所の除染効果は。

原発対策課長 今後とも現在の体制を維持しさらに強化も検討しながら取り組んでいく。

原発対策課長 25年度実施した住宅除染の結果をみると平均38%減少している。

問 電子自治体推進事業に7100万円計上されている。現在、コンピュータ戦争と言われているように安全性が問題視され

総務課長 国・県をはじめ、建設行政を補完しているふくしま市町村支援機構などと連携を図りながら、今後取り組んでいく。



町振興計画審議会の様子(役場仮庁舎)

ている。どのような対応をしているのか。

企画情報課長 残念ながら100%安全だというシステムはない。そのために職員の研修を始め、今後とも町としてできることを最大限実施していく。

問 国は文化センターや学校などの施設をできるだけ長く使用するため、管理計画の策定を要請している。計画づくりに専門職員の確保または広域連携が必要と思うが。

課長 国・県をはじめ、建設行政を補完しているふくしま市町村支援機構などと連携を図りながら、今後取り組んでいく。



村上晴夫議員

Q 迷惑空き家対策として条例制定を

A 対策のための協議組織を設置し検討していく



阿部泰藏議員

町長 町の権限強化には条例に罰則規定がないと有効でない。このことを含め今後の在り方を新設の連絡会議で十分検討して対応していく。

全国学力テスト結果公表を

問 新年度から全国学力テストの結果を町教育委員会の判断で学校ごとにテスト結果を公表できることになった。教育委員会の判断を聞く。



空き家の防犯防災も心配されます(石母田地区)

問 新年度予算で空き家対策実態調査に1000万円が計上してあるが。

町長 まず、空き家の実態を1戸1戸しっかり調査をする。また、警察・常備消防・消防団・町内会長などからなる連絡会議で今後の対策について検討していく。

問 町では空き家所有者の調査を平成21年度に実施しているが、管理されていない空き家に対する管理指導を行っているのか。

問 町が所有者に対し指導した事例はあるのか。

住民生活課長 昨年夏に所有者が不明なため町内会に対応したことがあった。

住民生活課長 空き家であっても個人の財産で、管理責任は所有者にある。町が管理することは難し

い。

問 今後、管理不備の空き家が増加していく。所有者に適正な管理を求めためには町の指導権限を強化する条例が必要では。

教育委員長 テスト結果を公表する際は、教育上の影響などを慎重に判断することなどの条件が付されている。このことから2月定例教育委員会では慎重な検討が必要という判断をした。今後、さらに検討を進めて結論を出す予定である。

問 児童生徒の学力向上には、先生の指導力が重要だ。指導力向上対策を聞く。

教育長 まず、校内での指導力の向上には校内研修の充実を図ることが基本である。その上で、町内幼小中研究会の研修や県主催の研修会、先進的な取り組みを行っている県内外の学

教育長 各学校で学年に応じた家庭学習の手引き等を作成して、学校と保護者とが連携して活用を努め、家庭学習習慣の定着確立に向けて進めている。

問 昨年の学力テスト結果を踏まえて、家庭学習の改善に向けた対策は。

校への視察も重要な柱と位置づけている。

Q 国道拡幅改良工事の促進を

A 交流の場整備もあり強く要望している

問

国道拡幅工事が桑折町地内で進められている。町としても早期促進を働きかけるべきだと思いが。

に強く要望している。

問

町内の国道工事はいつ着工し、いつ完成となるのか。

問

町で計画中の交流の場事業に影響は。

建設課長

今年中に造成工事に着手したい。次年度以降は、国、県、町の三者合同会議の中で調整を図っていく。

建設課長

道路巡視員が定期的なパトロールしている。町内会でも美化作業などの協力をお願いしたい。

問

この町道には数多くのカーブがあり危険である。通学路でもあり、側溝に蓋かけをしては。

建設課長

学校や交通安全全部会と現地を精査し対応していく。

問

貝田集落内の旧国鉄レンガ橋が町の文化遺産として認定された。完成までの経緯などを公開しては。

生涯学習課長

大木戸地区や貝田宿の歴史・文化財を紹介するパンフレットを作成したい。

問

貝田駅に大木戸地区の歴史マップを電光板で作成

し、駅構内を明るくしては。

生涯学習課長

今後、JRと協議し検討したい。

サービスエリアへの

町道を改良すべき

問

貝田集落からサービスエリアへの町道は急勾配で交通量も多く誠に危険である。改良すべきでは。

建設課長

跨線橋の改良を含めると莫大な工事費となる。今後維持修繕工事に対応していく。

問

途中の跨線橋は重機による除雪をしても安全か。

建設課長

新年度に国の補助事業として橋梁の詳細点検を実施することとしている。



志村良男議員

町長 国などへは年間を通じ近隣市町と連携し要望活動を行っている。また、交流の場の整備にも関連することから町単独で幾度となく復興大臣など

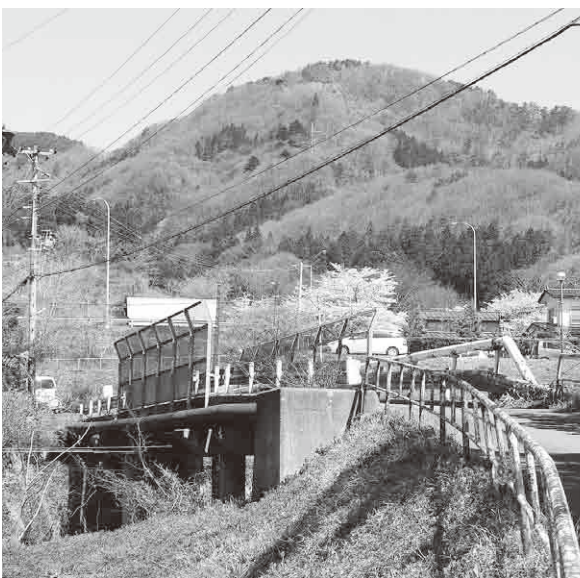
建設課長

国の予算が確保され次第、順次着工し、10年程度かかるとのこと。

問

中学校から貝田集落までの町道には数多くの文化財がある。歴史街道として活用するには年間を通じ側溝などの管理を徹底すべきでは。

県北中からの旧国道を歴史街道として整備しては



跨線橋の安全確保に早期点検を(貝田字山ノ神前地内)

Q 少子化対策として婚活イベントを

A 若者による実行委員会で議論していただく



渡辺勝弘議員

問 人口減少の打開策として結婚を望んでいる若者に意見を聞き、婚活パーティーなどを企画しては。

町長 まずは町の復興、元氣活力事業を実施することだが、少子化対策も非常に重要な課題だ。町として婚活にどのよう

問 具体的にはどう進めていくのか。

町長 先ずは少子化対策を総合的に検討する協議会を立ち

上げる。その中の検討結果を踏まえ、若者主体の実行委員会で具体的な事業を決定してもらうことを考えている。

問 後継者媒酌人報奨金制度を復活すべきでは。

保健福祉課長 媒酌人が非常に減少し、この制度は現在休眠状態である。このことも新たに設置する協議会で検討する。

問 子育て世代の町に対する満足度をさらにアップさせるために、その世代の人からの情報を把握しては。

保健福祉課長 保育所内

にある子育て支援センターや赤ちゃん訪問などの事業から意見をもらい事業に生かしている。新設する協議会でも意見を聞いていく。

問 子育てしやすい町であることを

町内外の子育て



みんなニコニコ子育て広場(藤田保育所内の子育て支援センター)

世代に大いに発信して転入者増に繋げては。

保健福祉課長 新年度に

子育て支援計画を策定することからその公表とガイドブックを新たに作成し、配布する。ま

た、町のホームページで子育てに関する情報を積極的に配信していく。さらに計画されている交流の場や観月台文化センターなども含めて効果的な事業を進めていく。

Q 光明寺町内会の町道整備の促進を

A 早い時期の事業化に向け検討する

問 道路整備事業の優先順位を決定する条件とは何か。

この町道は約500mの沿道に16戸があり、道路幅が狭く、車両のすれ違いが困難で住民が不便を与えていると認識している。

建設課長 昨年6月に4項目を総合的に評価し、土木工事の優先順位を判定する整備基準を策定した。その4項目とは、①事故の発生頻度や地形的な危険度などの緊急性、②

この町道は約500mの沿道に16戸があり、道路幅が狭く、車両のすれ違いが困難で住民が不便を与えていると認識している。

問 光明寺字滝ノ下地内を通る町道4078号を町はどのように捉えてきているのか。

この町道は約500mの沿道に16戸があり、道路幅が狭く、車両のすれ違いが困難で住民が不便を与えていると認識している。

問 住民は災害など、不測の事態に対し常に不安に思っている。この町道は消防防災上から見た場合どう捉えられているのか。

この町道は約500mの沿道に16戸があり、道路幅が狭く、車両のすれ違いが困難で住民が不便を与えていると認識している。

この町道の整備費用を試算すると6000万円ぐらいになる。



すれ違うのにも一苦労(光明寺字滝ノ下地内)

③用地確保の必要性、④事業コストなどの整備の効果である。

光明寺字滝ノ下地内を通る町道4078号を町はどのように捉えてきているのか。

この町道は約500mの沿道に16戸があり、道路幅が狭く、車両のすれ違いが困難で住民が不便を与えていると認識している。

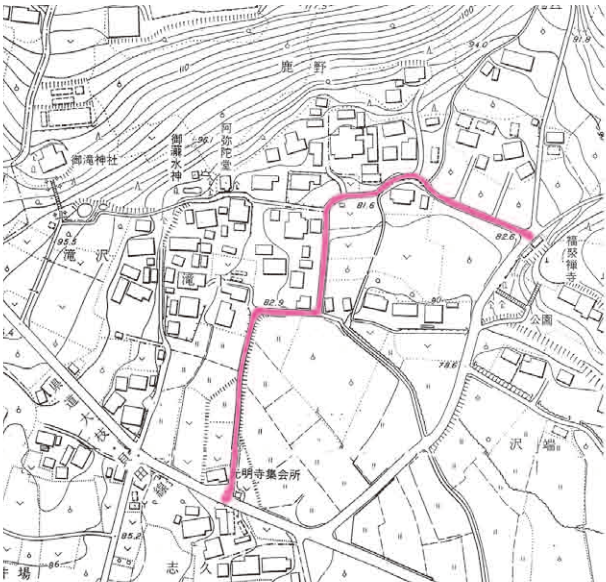
住民は災害など、不測の事態に対し常に不安に思っている。この町道は消防防災上から見た場合どう捉えられているのか。

有事の際は住民の協力が不可欠である。常日頃、道路状況を踏まえた防災意識を高めておくことが重要である。

この町道の整備費用を試算すると6000万円ぐらいになる。



渋谷福重議員



町道4078号の位置図(光明寺字滝ノ下地内)

問 以前に2件の火災があり全焼であった。消防車が動けないし消火栓もない状況だ。さらに集落の背後は土石流危険区域

しかし、優先順位は危険度からして非常に高い。現在財源確保のため調査させている。なるべく早い時期に事業化できるように、鋭意検討していく。

Q 家賃滞納者への対応は

A ほかの入居者との公平性、平等性の観点で



浅野富男議員

しているのか。

課長

病気による一時休業者には分割による納入を指導している。また、専門家による生活や仕事内容の見直し、保険の過払いなど、多岐にわたって指導を受け生活再建も含めた納税相談会をしている。

問

病気にによる一時休業者には分割による納入を指導している。また、専門家による生活や仕事内容の見直し、保険の過払いなど、多岐にわたって指導を受け生活再建も含めた納税相談会をしている。

課長

病気による一時休業者には分割による納入を指導している。また、専門家による生活や仕事内容の見直し、保険の過払いなど、多岐にわたって指導を受け生活再建も含めた納税相談会をしている。

課長

病気による一時休業者には分割による納入を指導している。また、専門家による生活や仕事内容の見直し、保険の過払いなど、多岐にわたって指導を受け生活再建も含めた納税相談会をしている。



使用料は住宅修繕にも使われています(定住促進住宅)

るを明確に定めて今後、進めていく。

課長

病気による一時休業者には分割による納入を指導している。また、専門家による生活や仕事内容の見直し、保険の過払いなど、多岐にわたって指導を受け生活再建も含めた納税相談会をしている。

課長

病気による一時休業者には分割による納入を指導している。また、専門家による生活や仕事内容の見直し、保険の過払いなど、多岐にわたって指導を受け生活再建も含めた納税相談会をしている。

課長

病気による一時休業者には分割による納入を指導している。また、専門家による生活や仕事内容の見直し、保険の過払いなど、多岐にわたって指導を受け生活再建も含めた納税相談会をしている。

ら、未収金の解消に努めている。

課長

病気による一時休業者には分割による納入を指導している。また、専門家による生活や仕事内容の見直し、保険の過払いなど、多岐にわたって指導を受け生活再建も含めた納税相談会をしている。

課長

病気による一時休業者には分割による納入を指導している。また、専門家による生活や仕事内容の見直し、保険の過払いなど、多岐にわたって指導を受け生活再建も含めた納税相談会をしている。

課長

病気による一時休業者には分割による納入を指導している。また、専門家による生活や仕事内容の見直し、保険の過払いなど、多岐にわたって指導を受け生活再建も含めた納税相談会をしている。

課長

病気による一時休業者には分割による納入を指導している。また、専門家による生活や仕事内容の見直し、保険の過払いなど、多岐にわたって指導を受け生活再建も含めた納税相談会をしている。

課長

病気による一時休業者には分割による納入を指導している。また、専門家による生活や仕事内容の見直し、保険の過払いなど、多岐にわたって指導を受け生活再建も含めた納税相談会をしている。

課長

病気による一時休業者には分割による納入を指導している。また、専門家による生活や仕事内容の見直し、保険の過払いなど、多岐にわたって指導を受け生活再建も含めた納税相談会をしている。

課長

病気による一時休業者には分割による納入を指導している。また、専門家による生活や仕事内容の見直し、保険の過払いなど、多岐にわたって指導を受け生活再建も含めた納税相談会をしている。

課長

病気による一時休業者には分割による納入を指導している。また、専門家による生活や仕事内容の見直し、保険の過払いなど、多岐にわたって指導を受け生活再建も含めた納税相談会をしている。

課長

病気による一時休業者には分割による納入を指導している。また、専門家による生活や仕事内容の見直し、保険の過払いなど、多岐にわたって指導を受け生活再建も含めた納税相談会をしている。

課長

病気による一時休業者には分割による納入を指導している。また、専門家による生活や仕事内容の見直し、保険の過払いなど、多岐にわたって指導を受け生活再建も含めた納税相談会をしている。

課長

病気による一時休業者には分割による納入を指導している。また、専門家による生活や仕事内容の見直し、保険の過払いなど、多岐にわたって指導を受け生活再建も含めた納税相談会をしている。

課長

病気による一時休業者には分割による納入を指導している。また、専門家による生活や仕事内容の見直し、保険の過払いなど、多岐にわたって指導を受け生活再建も含めた納税相談会をしている。



今年の申告相談の様子(役場仮庁舎申告会場)

仮置き場確保で除染・復興が加速

平成24年3月に設置された本特別委員会は、平成25年度に延べ10回の委員会を開催し、仮置き場候補地の視察や国、県に要請活動などを行ってきました。

られています。

汚染汚泥搬出へ前進

県北浄化センターの放射性物質を含む下水汚泥は、早急な場外搬出を求め、9月議会まで継続して意見書を国や県などに提出してきました。

各地区で仮置き場を確保

大震災からの復興には放射能汚染への対応が大きな課題です。

除染とその作業で発生する汚染汚泥などの処理は、国の中間貯蔵施設設置が決まらず、町内の仮置き場の確保も進みませんでした。

25年度に仮置き場設置の見通しがつき、小坂地区(泉田字大松山地区)、藤田地区(山崎字前柳地区)、大枝地区(西大枝字元寺、字道下地区)、石母田地区(石母田字日矢来地区)の予定地を視察しました。

仮置き場の現地調査(山崎字前柳地区内)

現在は、各地区に仮置き場が確保され、除染作業が進め

損害賠償請求の時効が延長

11月に飯館村から下水汚泥処理の支援の申し出があり、下水汚泥の搬出が一步前進しています。

原発事故による損害賠償請求では、その請求権が3年で消滅する時効をなくすよう弁護士会から陳情があり、国に意見書を提出しま

国などに下水汚泥被害の損害賠償を要求

した。現在、この請求権の時効は10年に延長されています。

福島第一原発敷地内で増え続けている汚染水の早期解決や下水汚泥による損害



新庁舎の建設現場を確認(旧役場庁舎跡地)

賠償を求め、要求書を国、県などに提出しました。

また、東京電力には下水汚泥による損害賠償と風評被害の払拭、復興への積極的支援を求めました。

ほかに、町特産品のあんぼ柿の放射能検査や出荷状況を確保し、町復興計画の進捗状況なども調査しました。

今後も一刻も早い課題の解決と町の復興に向け、継続的に取り組む必要があります。

以上、特別委員会の中間報告とします。

身近で信頼される議会へ決意を新たに

議会基本条例を制定しました

議会基本条例とは
町議会がその役割や
使命を町民に宣言する
ものです。

議会改革
特別委員会報告
村上晴夫委員長

議会基本条例 制定を宣言

平成25年3月に特別委員会を設置して、これまでの議会改革の取り組みや委員会での議論、町民説明会などから、今定例会で「国見町議会基本条例」を制定することを決定しました。

町民の意見で 改革を決意

地方分権の推進によって、議会の役割が大きくなり、改革が求められています。また、議会アンケートや町民説明会で出された「議員定数や議員報酬を削減すべき」、「定年制を導入すべき」など議会への厳しい意見を真摯に受けとめ、議会改革を着実に進めることを決意しました。

地方自治の 確立のために

議会が自ら進んで町民と話す機会を持ち、町民に関心を持ってもらい、身近で

信頼される議会、町民が参加する地方自治にしなければなりません。また、政策形成過程とその執行、評価の論点、争点を町民にわかりやすく説明しなければなりません。

自己研鑽と資質 向上が不可欠

このような使命を達成するため、「議会報告会」や「一般会議」、議員間の「自由討議」などを実施し、町民に身近で信頼される議会、透明性のある議会の推進、町長などの執行機関との持続的な緊張の保持、政策立案機能を高め、議員の自己研鑽と資質の向上などに取り組みます。

町民に伝え、豊かな まちづくりを実現

議会改革を継続的に進め

ることを町民と約束する「国見町議会基本条例」をここに制定し、町民に身近な存在となり、町民の負託に応える、使命感を持って職務に取り組み、存在感のある議会として、国見町の持続的で豊かなまちづくりに寄与することを宣言します。

以上、特別委員会の報告とします。



改革へ決意表明する村上晴夫議会改革特別委員長(本会議場)

? 議会基本条例で何が変わるの

議会（議員）活動の活性化と充実のため、『情報公開』と『町民参加』へ、次の取り組みを行います。

『議会報告会』を開催します

明します。

町民と情報を共有し、議会活動への批判や意見、町政への提言などを聴く貴重な機会にします。

『一般会議』を実施します

る場として、町政の課題を

町内の各種団体などと議会が自由に意見交換する『一般会議』を実施します。

『自由討議』を実施します

執行部との質疑や応答だけでなく結論を出すのではなく、しっかりと議員間で討議し、議員全員の異なる視点で自由に議論し、合意を作り出します。

傍聴者に資料を提供します

議会傍聴者に資料を提供し、わかりやすい議会運営に取り組みます。

会議や委員会を公開します

情報公開の徹底、町民への説明責任をはたすため、できるかぎり会議などを公開します。

政策形成や立案能力の向上

町民などと意見交換や議員研修の充実強化で政策の提案や立案ができるよう能力の向上を図ります。

活動の評価を定数や報酬に反映

議員定数や報酬の見直しは、参考人制度などを活用し、議員活動の評価を町民から聴いて判断します。

継続的に確認し見直します

4年の改選ごとに、この条例の目的が達成されているか確認し、見直します。

議長選出で所信を表明

本会議など公開の場で、正副議長の立候補者が議会運営や町政への考えを説明し、町民にその選出過程を明らかにします。

町長が逆に質問できます

町長や職員が議員の質問に対して、その趣旨を確認したり、論点・争点を明確にしたりする逆質問ができます。これまでは議員の質問には、その回答しか発言できませんでした。

議員が各地区に出向き、直接、町民に議会活動を説

町民が議会活動に参加す

説明会で参加者の質問に答える八島議長(役場仮庁舎)



総務文教・産業厚生

税金などの滞納解消 へ協力し取り組む

2月21日、未収金対策の事務調査を行いました。町税の収納状況は前年より約5%増であり評価できます。未納者対策では、悪質滞納者には訴訟も必要とのことでした。



未収金対策の説明の様子
(役場仮庁舎)

3月議会には、町営住宅家賃や水道使用料などの滞納者への訴訟手続きの迅速化を図る条例の見直しなどが予定されているため、説明を受けました。

町では滞納解消に役場全体で取り組んでいて、議会への協力も必要との意見で一致しました。

※一部事務組合報告

※一部事務組合とは
複数の市町村などで行政サービスの一部を共同で行うために設置する組織

耐震化事業など 新年度予算を決定

福島地方水道用水供給
企業団議会

(摺上川ダムの水を浄化し、水道水として提供する一部事務組合。国見町、福島

市、二本松市、伊達市、桑折町、川俣町の3市3町で構成する)

2月20日、企業団議会定例会が開催され、小林香福島市長の新管理者就任報告

後、入札不調分の減額などを行う25年度補正予算や耐震化事業などを行う26年度当初予算、消費税の引き上げに対応する条例改正の審議が行われ、3件とも可決しました。

平成26年度当初予算

◆収益的収支予算額

収入 49億1213万円

支出 48億9063万円

◆資本的収支予算額

収入 482万円

支出 17億7874万円

(収支の不足分は、過年度分の損益勘定留保資金などで補う)

(報告者 八島博正)

外科医師増など 当初予算を決定

藤田病院組合議会

3月28日に第1回定例会が開催され、病院事業収益減による25年度補正予算と外科医師1人増などの26年度当初予算が審議され、2件とも可決しました。

平成26年度当初予算

◆収益的収支予算額

収入 62億1700万円

支出 61億2412万円

◆資本的収支予算額

収入 1億7984万円

支出 5億4072万円

(収支の不足分は、過年度分損益勘定留保資金で補う)

(報告者 渋谷福重)

技術管理者の資格 を追加

伊達地方衛生処理組合
議会

3月27日、第1回議会定

例会が開催され、法律に基づく技術管理者の資格を追加する条例改正や事業確定による25年度補正予算、26年度当初予算39億1590円(一般会計、し尿処理特別会計、ごみ処理特別会計の合計)などの7件が審議され、すべて提案のとおり可決しました。

(報告者 阿部泰藏)

庁舎建設9億円など 当初予算を決定

伊達地方消防組合議会

3月27日に第1回定例会が開催され、25年度補正予算、消防庁舎建設9億円やデジタル無線整備11億円(どちらも2年の継続予算)など総額27億4500万円の26年度当初予算総額など6件が審議され、すべて提案のとおり可決しました。

(報告者 浅野富男)

首相主催「桜を見る会」に 八島議長が出席

4月12日に東京・新宿御苑で開催された内閣総理大臣主催の「桜を見る会」に八島博正議長が県町村議会を代表して出席しました。

当日は、スキージャンプの高梨沙羅選手など各界の著名人など約1万4000人が参加しました。



首相主催「桜を見る会」に奥様とともに招待されました(東京・新宿御苑)

3月6日 ～19日	3月議会定例会開会
3月13日	県北中学校卒業式
3月18日	くにみ幼稚園修了式
3月20日	国見小学校卒業式
3月22日	藤田保育所修了式、町剣道祭開会式
3月24日	町フォトコンテスト表彰式
3月25日	まちづくり推進協議会
3月27日	伊達地方消防組合議会定例会(伊達市) 伊達地方衛生処理組合議会定例会(伊達市)
3月28日	公立藤田病院組合議会定例会
3月30日	奥州街道ど真ん中!くにみ春のフードフェスタ開会式
3月31日	退職職員辞令交付式
4月1日	新採用職員辞令交付式、教職員着任式
4月3日	町交通安全対策協議会
4月4日	議員懇談会
4月5日	藤田保育所入所式
4月7日	国見小学校入学式、県北中学校入学式、 広報編集委員会
4月8日	くにみ幼稚園入園式
4月9日	桜ライトアップ点灯式
4月12日	内閣総理大臣主催「桜を見る会」(東京都)
4月13日	桜のうた表彰式、記念講演
4月15日	町郷土史研究会総会
4月16日	町内会長会議
4月17日	広報編集委員会
4月18日	町生活環境推進員会議
4月19日	町体育協会総会
4月20日	内谷春日神社太々神楽奉納
4月21日	正副議長委員長会議、議員懇談会
4月24日	議会報告会(小坂・大枝各地区)
4月25日	議会報告会(森江野・大木戸各地区)
4月27日	議会報告会(藤田地区)



桜まつりのライトアップ点灯式(観月台公園)

議会傍聴をしてみませんか

手続きは、受付簿に住所・氏名などを記入するだけで気軽に傍聴できます。

次の定例会は
6月24日開催予定です

詳しくは議会事務局へお問い合わせ下さい。

TEL585-3295(直通)

大好きな国見町を花
いっぴいの花見町に

春爛漫の今日この頃、なにかもが輝いて見える季節になりました。東日本大震災や原発事故から3年が過ぎましたが、復旧復興に向け奮闘されている町長や議員のみなさんに深く感謝します。

主婦の立場から、私が大好きな国見町をより良くするにはどうすればいいかを考えてみました。

町を活性化するには、町の特徴を活かし、人を集めることが必要だと思っています。義経まつりも町民だけでなく、県内外からお客さんが来てもらえるようなお祭



佐藤 ナミ

(第4町内会)

りになればと思います。これから道の駅や交流の場が予定されていますが、国見町をアピールする絶好の機会です。ほかの町村にはない個性あふれる商品を、町のキャラクター『くにみもたん』が宣伝すればいいと思います。

こんなにも素敵ですばらしい国見町です。町民と議会、行政が一体となって知恵を出し合い、将来に向かって夢と希望を持てる、住んでよかったと言える町にしたいものです。

一つの案として、国見町を花見町と紹介できるように、阿津賀志山を花見山にし、放射能汚染で休んだ水田にはレンゲソウを、畑にはコスモスを植え、季節ごとに辺り一面に花を咲かせたら綺麗なことでしょう。まずは自宅のプランターに花を植えることから始めたいと思います。皆さんも花見町に向かってできることから始めてみませんか。

今後とも対応を注視

東電から回答書

3月5日、八島議長ほか4人が、東京電力復興本社

福島本部の林孝之副本部長から、1月14日に提出した「放射能汚染による下水汚泥の堆積に伴う損害賠償など

を求める要求書」の回答を受けました。

回答書は、町と町民に「多大な迷惑と心配をかけたこと」への謝罪があり、地域住民の声には誠意をもって丁寧に対応し、

今後とも県、町と協議していきたいとの内容でした。

町議会は、引き続き東京電力の対応を注視していきます。



東京電力からの回答書を受け取る八島議長など(役場仮庁舎)

東日本大震災から3年が過ぎました。国見町でも役場庁舎をはじめ、多くの建物に大変な被害を及ぼしました。商店街では被害に遭った建物が取り壊されたままで、空き地が目立ち、様相は一変してしまいました。そして太平洋沿岸の多くの地域では、津波に襲われ、壊滅的な状況になり、復興にはまだまだ時間がかかると思われまます。また、原発事故で避難を余儀なくされた浜通りの多くの人たちや、帰りたくとも帰れない人たちのことを思うと本当に気の毒でお見舞いを申し上げるしかありません。

さて、国見町では少しずつではありますが、除染作業も進んでおり、来年度までには一般住宅の7割程度の除染を終える計画です。役場庁舎の建設も進み、今年2月には完成予定で、この工事が完成すれば大震災も一つの区切りになるのではないかと思います。

(K・T)

- 議長 八島 博正
- 副議長 志村 良男
- 編集委員長 浅野 富男
- 編集副委員長 松浦 常雄
- 編集委員 東海林 一樹
- 同 佐藤 定男